京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久鉀一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

論說 新協約と錦愛線

日露新協約第三條の規定によれば彼の錦愛鐵道布設問題の如きは當然兩國より服從せらる〻もの〻如く早解せられざるにあらず併しながら斯の如き問題は必らずしも滿洲の現狀を侵迫すべきものと爲すを得ず從て曾へ露國側より協商會議を開くの請求ありて之に應ずるも日本は强ち露國の提議を是認せざる可からざるの義務を負ふものにあらざるを以て根本的に斯かる問題は果して滿洲を侵害すべきものなるや否を決定したる上にあらざれば現狀維持に必要なる措置を協議するの要なき次第なれば將來再び錦愛線布設問題の如きもの發生したる場合必ずしも之を排斥すべき意味にあらずと某當局者は語れりと

諸懸案解決せん

日露間多年の懸案たる旅順港病院船問題、三重丸事件、金比羅丸其他二三密漁船拿捕事件樺太露民被害問題其他の諸問題は今回の日露協約とは何等の關係なきも協約當然の結果として從來よりも尙ほ一層兩國官憲の接近を來たし意思の疏通するものあるより此等多年の懸案も遠からず圓滿なる解決を見るに至るべしと云ふ

滿洲特別貸附狀況

大藏省の命令により滿洲に於ける金融機關として橫濱正金銀行が同地に於て特別貸附業務を執行するに就き高橋頭取渡滿の上貸附規程及び取扱細則を定め愈々七月一日より實際に資金貸附業務を開始したるが素と滿洲に於て產業開發の目的を以て土地家屋を抵當として資金融通をなすに在るが故に此事を豫知したる彼地在住民は家屋建物を有すれば何時にても正金銀行は資金を貸與するものなりと想ひ大に其實行を期待せるもの多かりしが高橋頭取渡滿の上詳細なる說明の結果特別貸附の性質たるや單に不動產を抵當とせる者に對しては其の資金の用途の何たるを辯ぜず貸附くるものに非ず例へば家屋を抵當に資金の融通をなして其の家屋の家賃を以て償却金に充てんとする如きは正金の欣ぶところに非ず有望なる事業に對して之を開發誘導せんが爲めには縱令抵當なくとも之れが經營をなす者の信用と人格とに對しては容易に資金の貸附をなす場合もあり斯の如く正金の特別貸附の性質が明かとなると共に資金需要者間に自ら淘汰行はれ大連税關店より本店への最近報告に依れば一日以來の貸入借込口數は廿口金額十八萬圓位に及べる由なり

日露犯人引渡條約

日露犯罪人引渡しの協定に關しては既に一再報道せられたる所なるも今本社の確聞する處によれば右の交渉は實に林外務大臣時代に於て發生し爾來現今に至るまで兩國の懸案となり居るものなるが其の內容は勿論法律に關係する所多く我が政府よりは交渉開始の際既に相當の案を具し露國側に提供しある爲め機會ある毎に折衝を重ね來りたる結果最早大體の打合を遂げたり其發表は日露新協約よりは少しく後れたるも遲くも今後兩三箇月內には確然たる成立を見るに至るべし而して右條約原案は單に普通犯罪人に關するもののみに止めず淸國の政治犯人に對しても引渡を爲すことゝせるを以て成立の上は韓國亡命者及び露國虛無黨等に對し有効なる取締りを爲し得べしと云へり

一度召し上ると其味を忘れられぬは ミュンヘンビール

滿鐵の社債昂る

百零四磅臺を常軌としたる南滿洲鐵道社債は去る八日に至りて突然百零六磅四分の一に昂騰し十一日を除きて百〇五磅臺を持續し十三日も百〇五磅二分の一の高値に在り蓋し日露協約の調印並に發表を經構へての結果にして協約の成立と共に滿洲平和の保全が確かめられ前途憂ふべきの原因なく同會社の信用が高まりしに因るべしと云ふ

夜盜虫と豫防法 (農務當局者の談)

近時各道に於て夜盜虫發生し續々蔓延の兆あり被害の範圍頗る寒心すべきものなるが之れが撲滅法に就ては目下研究中にて非常に至難なるものなれば容易に塵滅する事は得ざるべし元來該虫は繁殖力極めて旺盛にして昆虫學者の說に依れば一蛾一回の產卵數實に七百卅七個の多きに達し產卵を終りたる蛾は其儘斃死すれども一年二回若くは三回產卵するものなりと云へば最初七百三十七個の數は二回目に約四十九万疋の夥だしき多數となる程猛烈なる繁殖力を有するは實に該虫の恐るべき所以にして而も一度蛾となるや一大群を形くり甲地より乙地へ轉々飛去るものなれば何時何處へ襲來するや計られず其の豫防法として最も適宜なるは先づ田畑を小溝樣に堀りて區劃し蛆虫の蔓延を防遏すると同時に小溝に穴を穿ち置此處に集合する虫を厭蛾し殺に化せる以前に於て盡滅する方法なり他には莚の如きものを田畑に置く時は該虫の性質上晝間は是れに匿る〻を以て其の驅殺するものなり尤も除虫藥或は石鹸水の如きを使用せば容易に撲滅し得べきも斯る高價なる費用を投ずる事は到底一般農家の爲し能はざる所なれば前記驅除法を採るの外なかるべし

銘酒 一鶴

●水產史の續刊

農商工部の編纂に係る韓國水產史第三輯は愈々完成したるを以て近々配布の運びに至りしが同書は管轄區域別漁村の現狀精細の地理里面の道程等委敷說明を爲したるものなれば獨り水產業者の好資料たるのみならず一般世人の裨益するところ勘少ならざるべし因に第三輯は來る八月第四輯は十月に發刊する豫定にて全部四輯を以て決了する由なり

講談 大岡政談 越後傳吉 第二十六回 旭堂南陵講



傳「ハイ、脅迫…… 新「ナニ、うんな大した盜人ちやアございませんが、弱味に附込んで懷中物を奪らうといふ、賊にこの邊を歩くのは物騒で堪りません、毎度乃公アこの前の宿で道伴れを連れて來るんです、同伴者さへありやア盜人だつて出ませんが、一人歩いて居ると、何うしてなか〳〵危險です 傳「ハア 新「ところで今日は道連がないもんですから困つて居つたところへ貴郎の姿を見たものですから、こいつア好いた伴れが出來たと思つて、實アれ呼び止め申したやうな譯、斯うやつて道伴れになりやア、乃公のためなら、また旦那のため、向ふにそれ森がございませう、彼の邊から能く出るのでございます、旦那、れ互ひに力になりたいと思ひますが何うでございます 傳「何でございますか、盜人が出ますので…… 新「ハア出るので…… 傳「ハアそれやアわちいものが出ますだね、そんなものに出られましては大變でございます 新「エ、旦那、盜人が出るといふことを聞くと、顔の色が變りましたね、乃公のやうな資本に渇い人間と逢つて、旦那なざア大分にお金子を持て出でになるやうだすから 傳「メ、メ、滅相な、金子なんぞは持て居りませんが、盜人と聞くと何さなしに氣味の惡いもので…… 新「そりやアさうで、氣味の惡るいものでございます何うかそれでは御一緒に願ひませう、乃公も餘計はない五十兩ばかり持て居りますが、併し旅商人の五十兩は大金でございます、この金子を奪られてしまつたら、故郷へ歸りや女房や小供が口を開けて待て居りますから、乃公は身代限りをしなきやアなりません、旦那なざア少なくとも二三百兩は持て居られますな 傳「メ、メ滅相な、そんなに持ては居りません 新「マアもの〻道理でがす、乃公などの貧乏者になると旦那の大金より乃公の小さい方が苦しいんですから、何うか旦那力になり合ふて 傳「ハイ、そういふことにしませう 新「旦那何所までに行でになります 傳「ハイ、私は越後まで參ります 新「矢張り越後へ……越後は何所で 傳「寶田在でございます 新「ヘーエさうですか旦那はれ名前は何と申します 傳「手前は傳吉と申します 新「傳吉さん、さうですか、私は近江屋新助と申します、何うかマア宜しくれ頼み申します……ソーラ旦那言はねこッちやアございませんせ、御覽なさいませ、ソレ向ふに大きな榎がありませう 傳「ハア 新「彼の榎の傍に野郎が斯う二人頑張つて居りませう 傳「居ります 新「彼んな奴が出るんでございます 傳「ハア…… 新「震はないでも宜うございます、向うも二人なら此方も二人、ナーニ一人々々なら自由になりません、旅偸盜だつて劍術の名人が居る譯ぢやアございませんから何が此方で以て咎喝を掛けませう 傳「ハイ 新「れ前さんと乃公と二人で、れ前さんも乃公も劍術が大變强いやうに大きな聲で乃公が話をいたしますから、旦那は左樣々々と言つて、その話を受けて貰つたら宜しい、私は天下の名人のやうに法螺を吹いてやりますから、それを工合よく受けて下さい、それで向ふの奴が聞いて、こんな强い奴に掛つちやアならねえと思つて逃げたら、詰り此方のやまかんが利いたんです 傳「ハイ 新「それでは宜しうございますか 傳「ハイ宜しうございます」 近江屋新助 新「ねね傳吉さん 傳「左樣々々 新「そらア餘り早い名前を呼んで左樣々々おやア面白くないそこはへイと言つて下さい 傳「へイ 新「うまい〳〵、マアれ互ひに斯うやつて旅から旅を驅け廻る人間は、何處でどんな盜人野郎に出會すかも知れぬ、貴下と私とは町內の太田先生の方へ行つて眞影流を稽古した身體、旦那は何ですか、何年稽古をしましたね 傳「左樣々々 新「コリやアいけねえ、五年なら五年といつて下さい 傳「五年…… 新「五年やりました、さうですかね旦那ア五年やつてますかね乃公ア一寸八年ばかりやりました、何ですね、劍術といふものは習ひかけは辛いものですが、一寸腕が利いて來るとなか〳〵面白いものですナ、御承知の通り私は到頭一昨年目錄を貰ひました、傳吉さんは五年だけれども、乃公より腕利だから、免許ぢやアございませんか 傳「左樣々々 新「ヘッヘ……、宜い處で言つて呉れた 傳「左樣々々

廣告

名譽銀牌受領 キリンビール

仁川港 三巳醬油釀造場 電話七壹番
最上醬油

キッコーウリ 最上醬油 龍 韓國仁川 日本醬油株式會社

入院隨意 菅醫院 京城西小門通六番戶 電話一三一五番

拙者販賣の氷は其の筋の許可を得飲料に適し申候尙は安價に放賣仕候間大方の諸君陸續御來車御用命下され度願上候
京城西部西江坊玄石里二統一戶 李殷鎬

新荷着
英國皇室御料 コンマンダー
英國製 スヰトホーム
京城本町二丁目 織居商店 自轉車部 (電話四百八十番 電略オ)

奧出洋服店 京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

ビヤホール
氷アイスクリーム
⦿登呂呂汁(御麥の御飯)
⦿和洋會席御料理(御手輕主義)
旭町一丁目 度支部官舍下隣 松風軒

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

齒科治療 本町六丁目 ドクトル 中村安子 (數そば橫町電話一五八三)

別府溫泉
▲當溫泉ハ豐前別府溫泉ノ湯ノ花ニシテ世上ノ悉知セラル〻如ク効能著大ナリ
▲朝湯五時ヨリ晩十二時迄 背ながし 二錢
▲當溫泉場二階ニテハ圍碁將棊蓄音器茶菓ビヤボール等ノ設備致居候間御散步旁々御入浴被下度候
京城本町七丁目 別府溫泉

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

●諸公債諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服御小賣
京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九九三番 電略(タ)

東京電報

▲財政計畫決定 明年度財政計畫に對しては閣議を經て既に決定せるが其の大要を聞くに桂內閣成立當初の財政方針たる非募債非增税減債償還額增加生產的新事業の進捗に何等の變化を加へず大体に於て本年度總豫算額五億三千萬圓鐵道(特別會計を除く)を踏襲する事に決せり(二十日)

▲韓太子御參拜 韓太子は今午前八時十分倉吉驛發臨時列車にて御來屋御着名和神社に參拜せられ同十時名和假停車場より臨時列車にて米子に御安着同地風翔閣に御二泊の豫定太子は頗る御元氣にて官民の歡迎盛んなり(同上)

▲實業團員賜餐 渡邊宮相は御沙汰を奉じ今二十日正午芝離宮に於て桂首相、小村外相、小松原文相、澁澤實業團長近藤廉平、土井大阪大谷橫濱の各商業會議所會頭幷方川崎造船所長其他を招待して午餐會を催せり(同上)

▲民政長官辭表 大島臺灣民政長官は藥税問題に關し其意見政府の容るゝ處とならず且つ佐久間總督上京して政府と交渉を遂げ同長官を差措けるに不平を起し本日辭表を提出せり(同上)

▲警視廳と學生 警視廳は在東京留學生一同の行動に對し一層其取締を嚴にし統監府警務總監部と相應じて苟くも不穩の行動なからしむる方針なりと(同上)

▲豫算と各財源 四十二年度歲出不要額並に租税勸業收入豫算に對する實際の收入增加額は實に三千万圓以上に達すべく而して四十四年度に於て假令所得税法改正案を提出して歲入に約四百五十万圓を減ずるものとするも一方に於て改正關税法にする增收あれば確定せる一般租税並に勸業收入に依り合計一千五百萬圓に達する計算なり而して四十四年度の財源に充當すべき前年度純剩餘金は確定的歲入增加額凡そ四千五百萬圓なれば此內四十三年度追加豫算の財源に充當すべき三百萬圓を控除するも尙は四千二百萬圓を殘す事となる故に之れを以て明年度新事業即ち海軍擴張費千五百萬圓を充用するも殘額二千七百萬圓なり此の內海軍擴張費に供ふ技光製鐵所設備擴張費五百萬圓韓國に對する帝國新發展設備費約七百萬圓鎮海灣防備費與門海峽改良費治水費水電調查費公共團体補助其の他生產的事業補助費幷せて約六百万圓合計千八百萬圓は當然支出すべき經費に屬するを以て之を明年度豫算に計上し殘額一千餘万圓は國債償還基金に繰り入れ國債償還額を增加する計畫なりと(同上)

▲輝久王侯爵 (東京電報) 北白川宮輝久王殿下の臣籍降下勅許せられ本日爵記授與あり小松輝久と改め侯爵を授けられ御手元金を下賜せらる(廿日)

▲理事廳の廢止 寺內統監は韓國行政整理の第一着として理事廳廢止を斷行し專ら經費節減に力むる由(同上)

▲國民黨九州遊說 國民黨の遊說は北陸地方の遊說を以て一段落を告げたるに依り更らに九月上旬より約半ケ月九州方面に大擧遊說を試みる事となり本部よりは犬養、箕浦、福本、仙石の諸氏出張すべし(同上)

▲泰宮殿下御避暑 泰宮內親王殿下には來る二十四日箱根宮の下御用邸に成らせられ當分同地に御滯在あらせらるべし(同上)

▲議院新築竣功期 目下委員會にて調查中の議院建設は來る明治五十年日本大博覽會開會までに完成せしむる方針にて右經費は總豫算追加豫算に計上し來る二十七議會に提出すべし(同上)

伯林電報

▲淸國公使交迭 前駐獨淸國公使は新任公使梁誠に事務引繼き了したり而して新舊公使の就任告別の辭奉呈は獨逸皇帝歸還直に行はるべし(廿日)

▲獨紙の協約評 北獨逸アルゲマイネ、ツァイツング紙は新協約締結せる日露兩國の平和意思を論じ且つ日本國は排獨國體に入りたりとの說は無意味なりと言明せり(同)

▲日本出品賣高 日英博覽會開會より六月末日迄の出品賣高は六萬三千二百八十圓に達せり(同)

▲小松侯の告別 小松輝久侯は本日兩陛下並に東宮殿下各宮殿下に御告別[illegible](同上)

▲荒井次官の出發 荒井度支部次官は二十二日新橋發歸任す

雜報

警察署長會議

明石警務總長は二十日午前十一時より南部署長今村警視北部署長鈴木警視皇宮署長呼子警視龍山署長濱島警視京城憲兵第一分隊長大橋大尉其の他各分署長を總監部に召集し警務機關統一後第一回の署長會議を開けり當日は山形秘密課長玄角保安、中野警務の兩課長並に永谷官房理事も出席し各課長より事務の打合せに關する訓示ありたる後明石警務總長は執務心得に就て一場の訓示を爲せり

不逞學徒の打盡

留學生の一團が嗚呼がましくも徒らに時事を激論し蟷螂の斧を以て龍車の强に當らんとし不逞の陰謀を運らしつゝあるは最近內地新聞の京城特電に傳ゆる處なるが當局官憲に於ても此不穩の行動に對し大に嚴戒する處あり果然去十七日より一大活動を開始し先づ裵洞順日館に會合せる一團に對し同夜深更に八名次で翌十八日一名合計九名を一網打盡し南部警察署內に拘禁せり彼等は早稻田中央明治等の諸大學に法律政治を學び昨年來歸韓せる輩にして爾來正業に就かんともせず一廉の志士を氣取りて放浪せる不良漢なるが昨今の時局に對し元老兩班儒生等を遊說し廻はり慷慨悲憤せるも一人の能く之に耳を傾くるものなく却つて益々遠斥せらるゝより玆に自暴自棄の狂態を極め居るもの〻如し而して彼等如何に盲動するも遂に何事も成し能はざるべきは明かなるが當局者は誰彼を問はず此際斯かる不良分子は根底より掃却すべしと

不良學生の人名

別項檢擧されたる不良學生の一團は目下南部警察署に拘禁し今村署長の外總監部より國友警視並に渡邊通譯官毎日南部署に出張訊問中なるが不逞漢の人名左の如し

朴秉哲、祭基斗、崔麟、李漢鄕、李恩雨、吳漢榮、柳承欽、閔忠植

因に檢擧人數は十七日八名十八日五名と傳ふるものあるも右は事實に非ずと係官は言明せり

●二十日朝の暴風雨 本月に入りてより絶へず低氣壓は黄海又は東海に出沒し陰鬱の天候全韓に渉り屢々風水の害を聞に至る殊に十九日朝黄海西部に現れしものは始め北東に進み東岸に來りて稍北方に轉向し速度遲緩となり韓國中部は一体に降雨し午後十時黄海道に上陸して急に又北東に進み廿日朝元山沖に走れり其間當地に於ては氣温高く蒸し熱く最高三十度六に達し時々豪雨を注下し廿日午前三時最低氣壓七百四十五粍を示したる後風向反轉して西の强風となり四時及五時は一秒時十三米三(四十三尺九寸)の風速を現はし十一時に至る總雨量は四十粍五七斗四升にして本月一日より廿日に至る合計雨量は實に二百九十粍八(五石四斗九升)に達せり

●故鄭秉夏氏の贈位 金宏集內閣の農商工部大臣として反對黨に迫害を受け遂に兇徒の毒刄に斃れ鐘路に梟首されたる鄭秉夏氏は七月十三日付を以て正二品資憲大夫奎章閣提學を贈られたり尙は故學部大臣徐光範故軍部大臣安駉壽の兩氏に對しても夫れ〳〵追贈の沙汰ありたり

●戸籍關係事故取扱 從來仁川理事廳にて取扱ひし警察事務は今回京畿の警務部に引繼がれし結果居留規則に依る居留、退仁屆は仁川署にて宮館警視警務部長代理として取扱はるゝ事に決し戸籍法に基く身分登記假令ば出生死亡婚姻等の屆は以前の如く理事廳にて取扱はるべしと云ふ

▲練習艦隊發航 海軍兵學校卒業の少尉候補生を乘せたる新練習艦隊笠置及び津輕は昨十九日午後江田島を解纜せり八月五日大連より仁川着の豫定なり(二十日)

社會小言

▲西本願寺の傳道隊將さに來らんとす、同寺の宿老島地默雷亦遠からず來らんとす、南山本願寺の勅額奉安式と相俟ち半島佛教界の寂寞を破んとす▲近時兩本願寺が半島傳道特に韓人傳道に意を專にせんとするの狀あるは疑ふべからざる事なり、只恐る彼等の傳道とは何を意味するか、韓人を本願寺化せんとするか、將た佛教化せんとするか。▲遠き昔は云はず、日韓關係新たに開けて玆に四十年、其間本願寺が韓人傳道に勉めたること一再にして止まらず、而かも何等成蹟の見るべきものを有せざるは如何、本願寺は傳道の爲と稱して僧侶を派す、而かも本山及び僧侶の目的は集財にありて傳道は單に其方便に過ぎず、故を以て本願寺の傳道なるもの今日に至るも遂に韓人間に基礎を有せずして止む▲聞く從來韓人傳道に比較的熱心なりしは東乃ち南山派にあらずして西乃ち龍山派なりしと、ソレかあらぬか西派は韓人傳道機關とも云ふべき大聖敎會を市內長谷川町に有す。▲聞く今日迄に大聖敎會の信徒名簿に登錄を經たる韓人男女の數優に六千を超ゆと、而かも之等の男女は盂蘭盆會を見んとし詠歌を聞かんとして出入せるものにして嚴正に評せば彼の活動寫眞を見んが爲に高等演藝館に出入せる輩と何の擇ぶところあらず▲西本願寺は大聖敎會の爲に一ケ年二千金を費すと云ふ、其費す所決して大なりとは云ふべからざるも六千の男女を登錄して未だ一人の眞正なる信徒を有せざるには蓋し何かの理由なくんばあらず。▲理由とは何ぞ、之を一トロに云へば大谷宗は今日に於ては最早宗教に非ず、從つて其僧侶、其說敎何等の生命を有せず、嗚呼死せる大谷宗を以て死せる韓人に臨む、一人の信徒の起らざる素より當然なり。▲今や死せる大谷派は何かの動機に因つて半島に盲動せんと企つ、併し如何に盲動すればとて死せる彼等が何等の感化をも韓人に與ふべしとは信ぜられず彼等盲動の笑はれん日遠からず來らんかな。

●馬山線の滊車不通 去る十九日午後六時馬山發電報に依れば前日來馬山線浸水の箇所は一時軌條面水深一尺八寸に減退せしも同日又々暴風雨の爲め洛東江益々增水し別に三箇所不通の箇所を生じ列車の運轉全く不能となれりと云ふ

●北韓の漁業發展策 北韓に於ける漁業の有望なることは人の[illegible]來免許漁業の出願者は南韓に多くして北韓には比較的少なく從て漁場區域の整理も未定の場所多く自然濫漁の弊ありて成鏡南北道の諸河口に於ける鮭の如きは[illegible]年々五六万圓の收穫ありしものが今日にては僅かに二萬圓にも達せず是れ濫漁の結果なれば漁業を奬勵すると同時に一面に於て漁族の繁殖方法とも講ぜざる可らず而して今日迄[illegible]南北道の免許漁業出願者は日一名位にて多きは數十件を出願する者あり是等は果して資力あるものなるや否やを充分調查する必要あり要するに北韓地方の漁業は南韓に比すれば總てに於て遲れ居る故に水產當局者は此邊に充分配慮する必要あるを以て庵原漁政課長は二十四五日頃より約一個月間の豫定にて北韓の狀況を實地に精查し其結果に依りて北韓に於ける充分の發展方法を講ずべしと云ふ

●免許漁業出願增加 免許漁業出願者は近時非常に增加し既に九千餘名に達し當局者は其の測量審查の爲め多忙を極め居れるが是等漁場にして夫々決定の曉は韓國の水產業は蓋し驚く可き程度に至るべし

●實業傳習所補助金 大邱古莊幹實氏の設立に係る實業傳習所は專ら綿麻織物の傳習をなし日を追ふて隆盛に赴きつゝあり農商工部よりも一昨年來補助を與へ來りしが本年度に於ても三百圓の補助支給に決定せり

●統監出迎と韓政府 寺內統監は愈々來る二十三日着仁に付き韓皇室は前統監の例に依りて仁川へ勅使を差遣せらるべく又韓內閣の各大臣は何れも仁川へ出迎ふ筈なり

●各學校の暑中休暇 京城民團立各學校は二十一日より暑中休暇に就き二十日生徒一同を集め各校長より休暇中の心得を諭示して成績通信簿を交付し終業退出せしめたり

●留學生に歸鄕說諭 警務總監部にては續々歸韓する留學生に對して輕擧妄動せざる樣懇諭し夫れ〳〵鄕里に歸らしめつゝあり廿日朝も三十名當地發歸鄕したりと

●京義線の滊車不通 十九日夜來の暴風雨の爲め二十日朝に至り京義線瑞興、興水間に於て線路所々に土砂崩壞し滊車不通となりしが同日正午頃迄には修復の見込なりし

●副統監理事廳巡視 山縣副統監は石井少將を隨へ二十日午前出邸京城理事廳を巡視せられたり

●京城民團事務視察 別項山縣副統監は二十日午前理事廳巡視の歸途京城民團役所に立寄り各課に付き精細に視察する處ありたりと

●釜永書記の懲戒 京城民團書記釜永第一課長が工事監督の職責にありながら工事關係者と相通じて債權保全の依囑を受け物議を釀もしたるは曾て既報したる處なるが遂に去る十八日付を以て譴責處分を受けたりと云ふ

●三司法官の交迭 十九日附を以て司法官に左の如く交迭ありたり

大邱控訴院判事 大友歌次

補晉州區裁判所判事

大邱地方裁判所判事 和田四郎

補大邱控訴院判事

晉州區裁判所判事 立川二郎

補大邱地方裁判所判事

●民長の龍山訪問 古城民長は去る十八日合併後の龍山を視察し併せて軍司令部及鎮海灣管理局等の諸官衙を歴訪して龍山編入の挨拶を爲したりと

●峯尾助役の出勤 京城民團助役に採用することゝなりし峯尾晉三郎氏は十九日付理事官より認可せられたるを以て同氏は昨二十日より出勤せり

●仁川諸學校休業 仁川民團立高等女學校及び小學校幼稚園は二十一日より來る九月一日迄暑中休暇を爲す筈

●山根囑托の出發 山根囑托は十九日南大門發夜行列車にて釜山に向へり

●敍任辭令 左の通り辭令あり

任土地調查局書記官(奏任二等) 和田一郎

兼任宮內府書記官 內藏院理事 靑山淺治郎

東拓漁民の慘狀

(某當局者の談話)

東拓會社が日韓兩國政府の允許を得て西韓沿海約百八十海里の漁業を開始し既に四十三年度豫算漁業收入として販賣手數料一萬八千圓船舶貸料九百八十四圓鹽藏槽貸料九百四圓を計上せるが此計劃に基き數百の漁民を誘致し來り大に西韓水面の遺利を拾はんとせり然るに着手後間もなく先づ安東縣方面に於て日淸兩國當業者の一大反抗を受け漸く其調停成るを見るや更に漁業者の同盟休業を現出し之が爲めに折角經營を試みたる水產業は恰かも內憂外患交々臻るの有樣となり其前途誠に寒心すべき狀況なるが元來斯かる結果を來たした深因に就ては根底より其計劃の誤れる爲めなるべけんも一は又販賣方法の宜きに適はざる故にして即ち同社が一羅商を愛顧して其爲すがまゝに放任し其必要監督を忽にせるを以てなり始め韓國政府が此特許を與ふるや命令條件として販賣機關の設備遺漏なからん事を慫慂せるに同社は自ら經營するの煩を避け大阪伊奈佐商會をして一手に引受けしめ會社自身は販賣手數料一万八千圓を得て甘んぜんとするの不都合を極めたり且つ唯一の需要地たる安東縣との歷史的關係を蔑如せるより同地水產會社及居留民は鼓を鳴らして反抗を企て其結果は同地方に於ける會社の信用を失墜し更に羅商伊奈佐商會は會社本來の目的杯は眼中に置かず唯だ一圖に壟斷的商略を以て漁民に臨み彼等の漁獲物に對し不當の價格を付示して之を買收する爲め茲に漁民等の同盟休業を見るに到れり現に多數の漁業民等は萬疊の海波と戰ひ粒々辛苦するも其得る處は毫も此勞に酬ゆるに足らず其慘狀は宛然苦界に身を賣られたる娼婦の夫れに似て歸るにも歸れず淚を飮むで從業し居るの現狀なり斯くて東拓會社は一万八千圓の收入豫算をも得る能はず又漁民等は約千圓の船舶貸下料納付に責められ延いて同社の水產計劃に大頓挫を招きたるものとす故に完全に其目的を達せんには根本的方針の變更最も必要なり云々(電通)

統監夫人の遲着

統監夫人は來る二十一日入京の筈なりしに統監夫人は二十一朝下の關發同日夜釜山に一泊二十二日入京する旨電報ありたりと

●仁川近海の漁獲高 仁川港に於て本年一月より六月迄の半期間に如何程の漁獲高を揚げしか今試に昨年同期と對照記載すべし

	本年	昨年
一月	九、六六八圓	二一、一五七
二月	七、六六九	二一、三六五
三月	七、四九一	一八、〇六〇
四月	一〇、九二三	一六、〇一五
五月	二九、二三三	一一、三五二
六月	二九、八七二	一四、五九三
合計	九二、八四六	一〇三、〇八二

●仁川會議所副會頭 仁川商業會議所副會頭森常吉氏辭退せられしを以て次點者の稻田勝彥氏補缺當選したる結果役員に缺員を生せし爲め一昨日臨時總開を次點者加藤、竹田兩氏の決選投票を行ふ筈なりしも出席者只だ五名なりし爲め流會となり更らに明廿二日午後七時より開會する由

●度量衡ご巡回講話 農商工部三宅事務官は度量衡講話の爲め普く忠淸南道を巡廻なし報告打合せの上折返し二十日より全羅北道に出張の筈なるが從來是等に關する智識皆無等の都合もあり旁々十九日一先づ歸京とも云ふ可き有樣なりしを今回の講話に依り始めて首肯せし者多く到る處結果頗る良好なりし由なり

●全北群山近海漁況 群山近海の鯛漁業は先來より引續き良況なりしも中旬より漸次減じたり石首魚は相當の漁獲ありしも太刀魚は昨年に比し不況なるしが何れも漁船は大牢引揚げ鯛は漁期當初は左程ならざりしに近來は增獲あり凡て價格は昇騰の氣味にて漁業者は相當の利を得たり

●軍司令官邸の招待 大久保軍司令官は昨二十日午後七時三十分來京中の伊國大使館附武官カプリー、プリエー氏を官邸に請待し晩餐會を開かれ陪賓は松永中將、明石、榊原、石井の各少將市川大佐其他軍司令部幕僚等なり

●有吉總務長官入京 有吉總務長官、中山書記官等を乘せたる關釜連絡滊船暴風雨の爲め一時間延着せしも一行は廿日午後八時十分南大門着列車にて入京せし筈なり

●松崎博士の仁川行 松崎博士は二十日下仁宮本稅關長官邸にて晝餐を喫し午後歸京したり

●慶北の蠶絲調查 慶尚北道に於ける蠶絲業狀態調查の爲め農商工部三田技手は尙州に出張せり

公人私人

▲大庭貫一(平壤民長) 十九日入京浦尾

▲林駒生(釜山理事廳技師) 十九日入京同上

▲海津一男(電氣技師) 同天眞樓へ

▲大江與四郎(一等軍醫) 同浦尾へ

▲齋藤省三(技師) 十九日出發

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
廿日	六六、四〇三、五六	二四八

▲治外法權▼

昨今理事廳廢止說がアチにもコチにも起つて居る、恐らく斯は民間の臆測ばかりでなく、當局間にも、必ず同樣の說があることゝ思ふ▲トコロで此理事廳廢止の實行に就いては先決問題がある、先決問題とは何ぞ、乃ち統監府廢止問題である▲伊藤統監以來の保護政治機關としては統監府と理事廳、語を換へて言へば統監と理事官とが骨子であつたのである統監府內の參與官だの部長だのと澤山あつても、开は皆統監の幕僚たるに過ぎずで裏面は兎に角表面はレヂデント、ヂエネラルと各レシデントとが半島の政治をやつて居た譯になつて居るのである▲されば統監と理事官とは離して見るべからざるが如く、統監府と理事廳とは離して見るべからざるものであるのである、今や理事廳廢止說起る、之れ取りも直さず統監府廢止說で同時に統監府廢止說であるのである、わかり切つた事ではあるが思付いたまゝ一寸一言する▲先夜經濟協會に於いて聽いた松崎博士の講演は近頃稀に聞く學術的講演であつた、尤も論旨は先年水原の本田博士がやつた講演と略ぼ似通つて居るが、松崎は現に角經濟學者と云ふ丈議論が廣く渡つて居る▲普通一般の人は韓人の貧乏は李朝五百年暴政の結果許りの樣に云ふ、併し松崎は韓人貧乏の原因を暴政計りに歸せず、否な暴政よりは寧ろ自給自足の經濟組織に歸して居る、松崎の觀察は慥かに學術的だ▲朝鮮でモデル乃ち模範の肩書の付くものは龍山の模範印刷局、模範煉瓦製造所、水原の模範勸業場、トクソンの模範農事試驗所、牛頭山の模範大韓醫院等迚も一息には言ふ事が出來ない程澤山ある▲トコロが此模範が中々アヤシイもので龍山の印刷局は只維持する許りに莫大の國帑を費し、トクソン農場のカボチャは、勿驚一個金八圓を要し、大韓醫院は誤診と投藥粗漏の爲に毎週患者一人づゝを殺して居る▲之を以て見ると我半島では模範は禁物だ、模範とは冗費の要ること、出來たものゝ高いこと、人を殺すことなりとは恐ろしい譯ではないか。

カブトビール、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水 卸小賣 洋酒食料品類金銀魔美品 直輸入商 三丁目 辻屋 支店電話三六六



夫婦と琴三味線

今日は大分陽氣の如だが……

微妙の音を出す琴や三絃の類の絃と胴とは離るべからざる者で其の何れを取り離すも琴として又三味線としての働きはなさないのだが然りとて餘りに遠慮なしに其分を忘れて食っ附いても三味線や琴やの働きは出來ない、親しき間にも禮儀ありと云ふことは此所にも必要を認めぬ理由に行かぬ、絃と胴とは元來密接機に出來て居るものだから絃に於てコマや琴柱など制裁物があつて兩者の本能を完全に發揮せしむるのである、男女夫婦の關係も又其如くである男と女とは密接すべく出來て居る而して矢張り相當の間隔を保ちて交際しなければ完全なものでない、既に夫婦となつてからも又然りである、若し此の夫婦間にコマなるもの即ち相當の遠慮がなく各自の分を守らず其の領分を相侵すが如きことがあつたなら夫婦として完全幸福なる生活は望み得られないのである、能く婦人方の謂はれることだが一心同體なる夫婦間に遠慮する様なことでは詰らない夫れだからコマの代用として最も大なる効力ある姑や舅のある家は嫌がられる、姑や舅のない家だからとて夫妻の間に全然双方の間隔を除いたなら圓滿に納るものでない、遠慮と云ふと何んだか親しまぬ如に聞ゆるが遠慮とは平たく言へば思ひ遣りと云ふことである、少々意味は違ふが例へば多少遠近に拘はらず出前仕出し仕候と云ふ飲食店があるとして如何に多少遠近に拘はらずと云つたからとて南大門外から蓬莱町邊の夫れへ十錢か十五錢の物を注文するが如きは遠慮なき即ち思ひ遣りなき業である、良人が一日の勤務を終つて歸宅した時夏ならば行水の湯も沸いて居らず燈火も點いて居らず薄暗い中に茫然座つて居る妻君を見たらば如何に感ずるであらふ「何うかしたのか」と問ふ「餘り働いたので草臥たの」と云ふ「日中餘りアクセクしなさんなよ」と慰さめる「ハア有難よ……何に大した事はないんですから……貴郎これ疲れでしたらう、今日は湯を沸しませんでしたから錢湯に行つて來て下さい、其の間に夜食の仕度を爲ますから」とあれば即ち親しき間に禮讓のコマがあつて誠に美しく睦じく家庭は圓滿に行くのであるが、何うも反對のが多い如だ「オイ何うしたんだい」「何うも爲ないよ草臥たのさ、洗濯から子供の世話から煮沸一切妾の手一つだアネ、ガミ附かずに少しは察して與れても宜いぢやアないかね」と行り返す如なら何うであらふ、妻君の云ふ事は事實には相違なからう併し相違ないこと必ずしも道理ではないのだ、況んや左樣云ふ妻君に限つて云ふが如く働いて居らぬのが多いに於てをやである、此れでは和合すべく結婚した自然の約束と當初の目的とに反する結果を生ずるのは避けられまい、撞木に打たれて鳴る鐘も撞木を離れにや音は出ない、とは云ふものゝ少しは拗るも甘へるも其の音を助ける掛け押への左手の働き却つて和合の妙味を深からしむこともあらふ。エヘヽヽ

手中の珠を奪はる

▽在日本の韓童の溺死 ▽日人漁夫夫妻の悲嘆

去る十五日筑後山門郡沖端村矢留字平川町の西側を流通する沖端川にて同所田中新太郎が養育し居たる韓國少年通稱貫一(十三)が溺死せし顛末を聞くに新太郎が此頃新調せる網を當日近隣の豆腐屋の大釜を借り受け煮込み居たるに貫一も來りて釜の下の火焚きを手傳居りしが午後一時頃時候柄熱さの餘り新太郎方に歸り居る際近所の兒童が數名川中に游泳し居る折柄滿潮に際したるに貫一は誤つて水中に倒れ未だ泳の術を知らざれば漸次悶くに從ひ深き所に入り手のみ水面に差上げ居るを他の兒童は之を見て貫一が態ざと水中に潜つて手のみを出し居るものと思ひ貫一は泳ぎが上手なと語合ひ居しが餘り長く時間經過するにぞ若やと思ひ此旨を新太郎方に知らせしに新太郎大に驚き走せ行き近隣の者も加勢し水中を搜索せしも發見せざれば直に漁村の事とて數艘の漁船を出し網を入れて搜索し四回目の網にて漸く貫一の屍體を引揚げたり急報に接し柳川署よりは警官數名出張し漁村醫師の手にて應急手當を施したるも既に死後一時間以上を經過せるより終に蘇生の途なかりしと因に貫一の出産地は不明にして幼少の時兩親に死別れ知巳の家に養はれ居たるも虐待に堪へず慶尚南道統營に逃げ來り乞食同樣となり果居たり然るに本年三月上旬新太郎は同所に出漁し同地に滯在中貫一が其船に屢々遊びに來り馴るゝに從ひ親も無く兄弟も無く頼り少き身の上なりと語るより新太郎も憐を催ふし船中に養ひ居たるに歸國の際上陸せしめんとせしに新太郎の袖に縋りて泣き悲みて別を惜むより日本に從ひて來るかと尋ねしに貫一は大に悅び是非に連れ行きと呉れと慕ひて止まざれば新太郎も四十歳の今日迄に未だ一人の實子なき事より兎も角一度連れ歸へり成長の後に依れば歸化せしめて吾家を相續せしめんと思ひ去月廿五日故郷に連れ歸り貫一のみは船中に遺して先づ上陸し女房お貞の意中を確めんと右の趣を語りたるに之も又異存なきより日本服を船中に持行きて着替させ上陸せしめたるに貞にも懐きて炊事の手傳ひなどまめ〳〵しく立働らき日に增し近所の小兒にも馴れて可愛ければ愈貫一と命名し吾が子の如く手中の珠と慈み來年新學期より小學校に登校させんと夫婦語合し貫一の生先を樂み居たるに今回不慮の遭難にて亡き人の數に入りたれば夫婦は力を落し悲嘆の涙に暮れ居れりと は人情實に然もあるべし

米副領事と美人

▽大邱へ出張して連れ歸る

京城駐在米國副領事グールド氏は去る十五日大邱に出張翌十六日一名の洋美人を随へ南大門驛に歸着したるに仔細ぞあらんと探り見たるに同副領事は十五日大邱河北面に赴き此の附近に米國の婦人が潛伏し居らざるかと同面内を隈なく探したる結果同日夕刻韓人李致仲宅に韓裝の米國美人一名潛伏せるを發見したるより同人方に踏み込み有無を云はさず引捕へんとしたるに美人は副領事の姿を見るや逃走を企てたるも直に捕へられたるものなるが今美人の素性を探知するに蘭國生れの名をペートラーと云ひ前記韓人李致仲が七年前布哇に出稼し甘蔗耕作場にて農業に從事中ペートラーの隣家に住居し同人と親しくなりし内戀に人種の隔なく四年前遂に安からぬ情交となり夫婦約束を爲し本年三月上旬同地にては生活困難なるを以てペートラーと手に手をとり萬里の波濤を越へて歸韓し李致仲實父の宅に同居し居たるものなるが是れ以上は事實判明せず何れ曰くのある事なるべし

理由の判らぬ事件

▽何うしたんだ財務署

財務署の不注意の爲め意外の犯罪を構成し外國人に迄關係を及ぼし當該官憲の手數を煩しつゝある事件を記せんに去る五月二十九日の紙上に漢城府員の不都合と題し報道せし西部龍山坊青坡二契洞十六統西戸朴宰來が自巳の保管に係る宮内府所有の果園千八百九十坪を低價にて外國人バーハムに所有權を移轉せしめんとしたる事並に實弟朴基來が漢城府員の不注意に乘じ虚僞の證明を取り同じくバーハムに賣渡さんとしたる事件は京城地方裁判所に於て兩角檢事の手にて取調中なる事は既報の如くなるが該事件の眞相を聞くに該果園は元朴宰來朴基來等の祖先代々の所有として占有し來りしものなるに突然官有地として沒收せられたるも朴宰來が保管者として占有し來りし該土地に栽培しある果樹は朴宰來に於て植付けしものなれば果物は朴宰來に於て收得し來れり然るに漢城財務署は不埒にも朴宰來、朴基來が其筋に拘禁せらるゝや未だ事件の眞否判明せずして當該官憲の取調中にも係らず朴宰來には勿論朴基來並に家族等には何等の通知をも爲さず蓬莱町四丁目八番戸河村敏夫に該土地全部を貸渡したり然るに朴宰來朴基來等の家族は主人が拘禁せられし以來糊口に困難し爲めに例年の通り該土地に栽培せる果樹より得る果物を賣却して糊口を凌がんと思ひ本年五月二十日と七月十五日の兩度に前後二百六十圓にて果物を佛國人ツレモリに賣却したるより佛國人は該果園内の果實取る可らずと掲示せるにぞ財務署より借り受けたる河村敏夫は販賣者たる朴宰來の家族朴弘來并に朴俊來を相手取り告訴せるより目下京城裁判所秋場檢事の手にて取調中なれば正否は未だ判明せざるも漢城財務署が前述爭事件の解決せざるに河村敏夫に貸し渡し利害關係者に何等通知せざる爲め如斯事件を惹起し當該官憲の手數を煩すは不埒と云ふ可し

脱營兵士の情夫

▽南大門外朝日屋の小梅

新潟縣平民第七師團第二十七聯隊第一中隊步兵上等兵小林八百吉(二二)が忠清北道成歡守備隊に服務中四十二年五月十七日脫營し小林香藏と僞名し龍山某陸軍砲兵中佐の馬丁となり居りしを逮捕せられたる旨は十七日の紙上に報導したる所なるが今彼れが此の大罪を犯すに至りたる動機を聞くに現在當地南大門外御成町朝日亭の酌婦小梅と云ふは四十一年十一月頃より成歡なる料理店吉野屋に酌婦稼ぎをなし居たる者なるが前記八百吉と關係してより互ひに憎からず思ひ初めしも何分男は步兵上等兵と云ふ身分なれば遊興費の續く道理なきに小梅は我れから抱へ主の目を忍び牒し合はせし韓人温突又は彼所の物陰等にて媾曳し居たる間小梅は因果の胤を宿したるより酌婦勤めも出來兼ぬるより八百吉とも相談の上昨年四月當地に來り旭町一丁目東洋舍に於て分娩後小兒は何方へか遣はし青坡龍山の各所に於て酌婦稼業し居るを取り殘されたる八百吉は重大なる任務に服し居る身も打ち忘れ無分別なる事をなし入京し前記の所に奉公し小梅の許を訪れては分間の快樂に耽り居しも疵持つ脚の同人は居所は打明けず電話番號のみ知らし居たる其の番號が手掛りとなり引つ捕へられたるものなりとか

●コソ泥棒の檢擧

仁川にては近來狐鼠泥の徘徊する者夥しく毎晩少なくも一二軒の被害あるにぞ仁川署日韓刑事は殆ど寢食を忘れんばかりに之れが犯人の檢擧に努めつゝある矢先き一昨日午前二時頃同地宮町二丁目雜貨店堀壽次郎方に韓人泥棒忍入りパナマ帽外雜品數十點を竊取して逃走したりとの屆出でに接したれば各刑事係は血眼になりて犯人搜査に全力を傾注したる功果空しからず一昨十九日松林洞居住の金春植(二三)平洞金漢益(二〇)釜山生れ當時住所不定の栂槙權任千(二三)外一名を逮捕し嚴しく取調べたるに右四名は本年五月以來共謀の上殆ど毎晩の如く仁川の諸所方々を荒し廻り花町仁木仙太郎及び寺町一丁目大塚由太郎外三十餘軒にて啞者を手先きに使ひ巧妙なる方法にて手當り次第に竊取せしは時計、煙草、衣類、傘、其他あらゆる物品百數十點にて之等は皆な京町三丁目質屋盛もと外三箇所の質屋に入質して酒食に費消し居たりとは圖々しき狐鼠泥と云ふべく一昨日より刑事總係にて取調べ中なるが各質屋より引揚げし贓品は刑事室に積んで山を爲すの有樣

●仁川内港の損害

仁川港に於ては一昨日午後十一時より昨朝三時迄暴風雨襲來し被害少なからざりしが就中港内に於ける損害は日本圓平船六隻同漁船九隻韓國帆船六隻合計廿一隻にて内三隻は沈沒したり而して其損害は船體一千三百二十三圓積荷損害一千五百八十圓なりしと云ふ

●三面情歌（十六日本紙記事） 水賓生

▲泥棒の淫賣買
盗だれ金で唄へや飲と
腰にれ纏の付け景氣

▲鼻汁垂れ三衛
去た女房に恥掻されて
未練に腹をば立廻り

▲常陸山の摺鉢
冠る摺り鉢その呪ひで
命の横綱つなぎ止め

●仕込杖から目玉

仁川驛三等待合室に一昨日の午後三時頃麻浦河端町居住の船乘業西村作造(三九)と云ふが二尺五寸餘の竹箱仕込みの本刀を携へ意氣揚々烟草の煙を吹きつゝあるを警官に見咎められ大目玉を喰はさる

●京城では關はぬ

仁川宮町二丁目飲食店カツ(二二)は抱酌婦を街路より見易き場所に店張せしめし廉に依り一昨日仁川署より科料一圓に處せらる

●訂正●

昨紙「女房を酌婦に賣る」と題し大和町梶常太郎方雇人大野利三が内縁の妻岸本くまを利川郡利川邑富山吉三方に酌婦奉公させし旨報導したるが事實は前記くまは利三の内縁の妻にはあらで同人の委托を受け便宜説諭方願出たるに過ぎざる旨利三より訂正方申込

目と耳

▲壽座● 廿一日の代り番組左の如し 御祝儀松の操り(一場)哲學者(三場)自慢の鎧(二場)女學生(二場)れ好に依りて喜劇十八種の内勸進帳

▲浪花館● 今回木戸場代金十錢均一となしたる同館の番組左の如し 荒尾秀丸(浪花松朝)澁川武勇傳(吉田榛栗)筑前騒動(吉川秀奴)幡隨院長兵衞(岡本伊之丸)いかるが平次の傳義士本傳通し(吉川秀盛)

今日の運勢

七月廿一日 舊六月十四日 ●七赤 先勝 丁亥 定 土用入 △一白 盛運たり旅行入學開店業披露相談吉賣買貸借取引目込違あり △二黒 家庭家族の事煩累あり其他吉 △三碧 障礙奸錯多き日新事及企圖目論見見合せの事色情の破れあり △四綠 新事及建築見合せの事賣買貸借取引金談間違多し △五黄 平靜の日但し保證引受世話事又は情義に馳せて保累を求むる勿れ △六白 轉住轉業交渉談判に吉貸借取引賣買控へ目の事 △七赤 新事見合せの事訴訟及口舌の難に遭ふあり音信特異を報ぜん △八白 懸願出損にあふ日其他平凡 △九紫 新事旅行凶色情の難を戒しむ傳紛失を避くべし（本町五丁目三館判斷）

●天氣豫報

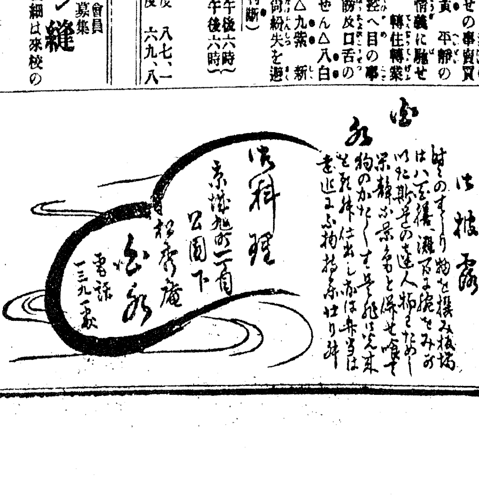
（自二十日午後六時 至廿一日午後六時）
南西風曇後晴
十九日（華氏） 最高温度 八七、一 最低温度 六九、八

廣告

●夏季講習會員募集
●造花、ミシン縫
八月一日より三週間講習委細は來校の上承合せらるべし
京城旭町一丁目
京城女子技藝學校

京城梅毒病院
京城相生町南門湯横（電話一二九四番）
自午前八時 至午後九時
●花柳病專門 附、痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

内外科 小兒科 梅毒淋病 入院隨意
高井醫院
京城壽町三丁目 電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治





東京 足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二二三番 四九二番
日本室和食
特等 一等 二等 三等 [illegible]

諸肴販製作
油繪肖像畫●硝子金文字入
[illegible]
永樂町二丁目
[illegible] 湛野工舍

小松侯の告別 ▲練習艦隊發航 ●北韓の漁業發展策

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目　電話一千四百○九番
ゑり徳商店

顔が證據

御婦人が毎朝鏡臺に向つて御化粧なさる時
自分の血色が好くないと感じた方はありませぬか
少しでも惡かつたら屹度身体に異狀があるのですから
婦人病の靈藥たる
中將湯
によりて健康を御計りなさい



中將湯は逆上を引下げ血の順を調ふるを以て自然血色を良好にす

●子宮病（子宮内膜炎）にて白帶多く前たゞれ又下腹腰足の引つり痛む人
●婦人神經（ヒステリー）血の道にて氣鬱ぎ癇高ぶり物を苦しく夜眠れず
●月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何となく身体惡き人
●逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え●息切れ動氣強く手足痺れ水腫
●十七八歳になりて月經なく血ぶさり又月經の前後に下腹の痛む人
●白帶赤帶滯下多く顔色青ざめ白き人●冷症にて難産流産の癖ある人
●産前何となく常ならざる人、嘔吐、産後古血の滯り或は日立惡く
●此外子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡き人

價定	五週分　二圓五十錢　一週分　六十錢
	二週分　一圓六十錢　四日分　卅五錢
	一週分　一圓十錢　一日分　十錢

●中將湯は各藥店にあり●無くば本舗へ申込あれ●中將湯には加減法あり

本舗　東京日本橋通四丁目　振替口座一六八○番　津村順天堂
大阪堺筋大宝寺町　振替大阪四五六番　津村順天堂
代理店　京城南大門通三丁目　振替韓國十六番　新井藥房

裁縫割烹教授所
規則書御入用の方は郵便切手二錢御封入之事
京城南山町三丁目三十番戸
野村さわ
（電話一四二○番）

將校御用　牛乳　清井牧場　電話一○五六番

眼科
日曜及祭日は午後二時迄
京城本町二丁目憲兵分遣所前
前漢城病院眼科部長　醫學得業士　江頭富雄
江頭眼科醫院
（電話三十三番）

☰
焦心苦慮志多年、篤斯道於涵養、研究推奧旨、恍然似有得者、誰不欲前途之吉、至如妖魔邪說、盲信迷妄之徒、豈可以語斯道耶
京城本町五丁目　易斷觀相教授　土御門派大陰陽師
館主　三一館

中島醫院
入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
院主　醫學得業士　中島貞信

●滋養と牛乳●
純良　牛乳
馬車配達
●衛生と消毒●
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹○六九番

統監府御用　宮内府御用
京城曙町（電話二八七番）

さゝめのある
温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき腸胃加答兒、頭傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

祝開店七週年大賣出し
弊店儀開業以來大方各位の御引立に預り日増隆盛に相成難有仕合に奉存候就ては聊か御禮の印として特別の安價を以て販賣仕候間不相變多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
美術、書畫、襖、壁、天井張、
京城壽町一丁目
桂萬吉
（電話六二七番）
同岡崎町　矢島鐵工所筋向
桂龍山支店
（電話架設中）



廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴事件
右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戸
堤重四郎法律事務所
鐘路典獄後洞廿一統六戸
同鍾路出張所

登錄商標
天下一品
清酢飛梅印
釀造元　尾道市　野間直兵衛
特約店
京城本町四丁目　前田商店　電話一三七番
同五丁目　大上商店　電話二五一番

營業科目
洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山鹽鹽合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目（電話二三○番）
出張所　東京京橋新地町一丁目
東京京橋電話新橋三六九二番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
（電話四二○）
本店　長崎市築町
支店　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州
出張所　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

韓國　日本
貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店
十八銀行京城支店

長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
一鴨綠江松材現木
京城旭町三丁目（電話五六八番）
建築業　柴田芝六

表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任　網島久雄
眞光小太郎
（電話五六八）

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道　東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道　彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、今市、大田
山陽道　龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、串本、田坊、田邊、新宮、和歌山
南海道　丸亀、高松、撫養、徳島、善通寺、觀音寺、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、熊本、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道　函館、小樽、札幌
台灣　臺北、臺南
韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候



東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓●事務所　京城南大門通二　電話一○六○番
京城代辦店　本町四　山口呉服店　電話九番

京城光化門
淺田
店主　大島宗藏
（電話四百十三番）

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ一層販路擴張の目的にて
「タバン懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個
三十日を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣すること相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也　敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛置時計韓國特約販賣店
携帯電燈各種特約販賣店
時計卸商　仁川本町三丁目（電話七○五番）　喜多金光堂本店
時計卸小賣　京城本町二丁目（電話一○一五番）　喜多金光堂支店
右特約店　京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話一三八番）　金化堂時計舖
各地方より御注文は發送作費申受候

御待合　紅葉
南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番

大上商店
特約販賣　自製
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
（電話二五一番）
ビール
新茶大賣出し